

令和8年度

管内概要



早春の鷲ヶ巢山



関東森林管理局
下越森林管理署村上支署



下越森林管理署村上支署の管轄区域



国有林は、森林計画に基づいて管理経営しており、当支署の計画区は、下越森林計画区（下越森林管理署管轄分を除く。）に属しています。



管内の管理面積と公益林（第7次国有林野施業実施計画による）

★ 市町村別の管理面積

（単位：ha）

市町村	区分	国有林野面積		官行造林地	合計
		要存置林野	不要存置林野		
村上市		46,590	2	161	46,753
関川村		19,730			19,730
合計		66,320	2	161	66,483

★ 森林事務所別の管理面積

（単位：ha）

森林事務所	関係市町村	国有林野面積		官行造林地	合計
		要存置林野	不要存置林野		
塩野町	村上市	6,818		130	6,948
舘腰	村上市	33,471			33,471
村上	村上市	5,503	1	31	5,535
女川	関川村	9,280	0		9,280
関谷	村上市	798	1		799
	関川村	10,449			10,449
計		11,248	1		11,248
	村上市	46,590	2	161	46,753
	関川村	19,730	0	0	19,730
合計		66,320	2	161	66,483

（注）単位以下を四捨五入した関係で計に一致しない場合がある。以下同じ。

★ 保安林

（単位：ha）

計	水源かん養	土砂流出防備	土砂崩壊防備	防風	干害防備	なだれ防止	保健
60,939	52,500	8,066 (1,131)	45	259	69	(4)	(259)

（注）（ ）は兼種面積で他の保安林に計上されていることから、重複を避けた面積である。

★ 自然公園等

(単位：ha)

自然公園		史跡名勝 天然記念物	鳥獣保護区 特別保護地区	県自然環境 保全地域 特別地区
国立	県立			
26,917	123	54	4,050	152
磐梯朝日	瀬波笹川流れ 粟島	平林史跡 小岩内の姥杉		鈴ヶ滝 45 鳴海山 107

レクリエーションの森				
自然 観察教育林	森林 スポーツ林	野外 スポーツ 地域	風景林	その他 (レク森施設数)
—	—	—	—	12
				野営場 11.98 避難小屋 0.07 展望所 0.10

(注) 自然観察教育林の () 書きは史跡名勝天然記念物で内書。

★ 保護林及び緑の回廊

(単位：ha)

朝日山地森林生態系保護地域			飯豊山周辺森林生態系保護地域		
保存地区	保全利用 地区	計	保存地区	保全利用 地区	計
12,293	10,047	22,340	—	670	670

緑の回廊
鳥海朝日 ・飯豊吾妻
6,698

★ 国民参加による森林整備等

(単位：ha)

ふれあいの森等	
瀬波夕日の森	さけの森林
* 77	* 33

(注) 面積欄の*印は、協定等を締結しているもの。



下越森林管理署村上支署の沿革

豊臣時代	村上義明領
徳川時代	村上藩領、一部旗本領、一部米沢藩領、一部天領
明治2年	藩籍奉還により国有林となる
明治2年7月	民部官所管
明治2年7月	民部官を民部省に改む
明治4年7月	大蔵省（現 財務省）所管
	大蔵省勸業寮～租税寮～地理課所管と変転
明治4年11月	新潟県所管
明治7年1月	内務省地理寮木石課所管
明治7年8月	内務省木石課を山林課と改称
	内務省地理寮山林課所管
明治10年1月	内務省地理寮廃止 地理局内山林課所管
明治12年5月	内務省山林局新設所管
明治14年4月	農商務省山林局新設所管
明治21年3月	新潟大林区署新設
	新潟大林区署 関谷小林区署所管
明治22年9月	長野大林区署 関谷小林区署所管
明治23年5月	村上派出所と関谷小林区署合併
	長野大林区署 村上小林区署所管
明治41年6月	新潟県岩船郡村上町大字本町102番地に庁舎新築
大正2年6月	東京大林区署 村上小林区署所管
大正13年12月	東京営林局 村上営林署所管
昭和22年4月1日	昭和22年勅令第105号により 前橋営林局 村上営林署となる
昭和36年11月28日	村上市大字村上3825番地（現在地）に 新庁舎完成し移転する
昭和54年2月1日	住居表示に関する法律に基づき町名変更により 村上市緑町三丁目1番13号となる
昭和60年1月31日	荒川治山事業所廃止
昭和62年2月1日	小見担当区事務所を女川担当区事務所に統合
平成4年3月31日	山北担当区事務所を塩野町担当区事務所に統合 担当区事務所を森林事務所に改組
平成5年3月31日	舘腰種苗事業所廃止
平成6年3月31日	坂町森林事務所を村上及び関谷森林事務所に分割統合
平成7年3月31日	三面森林事務所を舘腰森林事務所に統合
	大島製品事業所廃止
平成11年3月1日	平成11年2月26日公布農林水産省令第9号 （農林水産省組織規程の一部改正する省令）により 下越森林管理署 村上支署となる
令和3年2月24日	村上市緑町三丁目1番13号（現在地）に 新庁舎が完成する。



管内の概要

下越森林管理署村上支署は、村上市にあって、新潟県の北部に位置する1市2村（村上市・関川村・粟島浦村）にまたがる区域を管轄しています。

このうち、国有林の面積は、1市1村（村上市・関川村）に約6万6千haで、支署と4森林事務所（村上/女川・塩野町・舘腰・関谷）で管理経営しています。

蒲萄山 (795m)



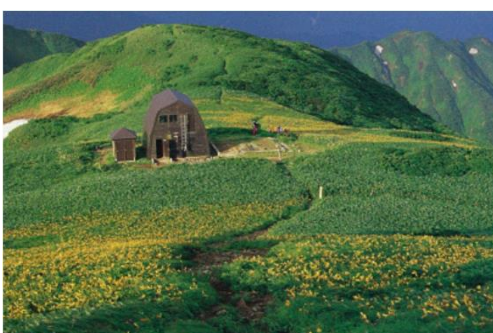
以東岳 (1771m)



西朝日岳 (1814m)



杵差岳 (1636m)



お城山から村上市街地を望む

当支署管内は、新潟県の最北部に位置し、気候は日本海型気候に属する多雪地帯であり、三面、大石、女川の奥地山岳部は雪崩等のため、基岩の露出している箇所が多く見られます。

【山系】

東部の朝日山系と南部の飯豊山系があり、いずれも急峻な山脈です。

朝日山系は、朝日山地、摩耶山地、蒲萄山地の3列が並列し、その間に山間盆地が発達しています。朝日山地は、西朝日岳(1814m)を主峰に、枳形山(1331m)、寒江山(1695m)、竜門山(1688m)などが連なり、さらに北部は、山形県の麻耶山(1020m)に連続しています。蒲萄山地は、蒲萄山(795m)、新保岳(852m)等が日本海沿いに南北に連なり、その西麓は断層をなし「笹川流れ」の景勝地をつくり出しています。

飯豊山系は、杵差岳(1636m)をはじめ、頼母木山(1730m)、枯松山(1119m)、大境山(1102m)が連なり、杵差岳を除くそれぞれが山形県と界し、磐梯朝日国立公園特別地域に指定されています。

西部は日本海に面し、平野部と山岳部との接触部分では急激に地形が変わり、山岳部は一般に急峻で山容は概して複雑であり、山麓は一般に緩傾斜地となっています。

飯豊山 (2105m)



【水 系】

北から、勝木川、三面川、荒川の三大河川に大別されますが、いずれも源流は朝日連峰から発するため延長は長く、日本海に注いでいます。

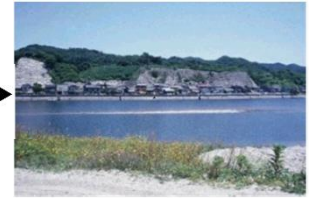
勝木川は、大川と近接し、北部団地から集水して大毎川、澄川等を合わせて日本海に注いでいます。

三面川は、当支署管内の中央部を集水区域としており、支流には朝日連峰から発する末沢川、泥又川、猿田川、門前川、高根川を有し、上流には発電ダムによる大規模な人造湖（奥三面ダム：あさひ湖）があります。

荒川は、山形県西置賜郡に源を発し、山形県小国町を流れ、当支署管内の南部を東西に貫流し、沼川、大石川、女川等の支流を合わせて日本海に注いでいます。



◀勝木川河口付近



三面川河口付近▶



◀荒川河口付近

羽 越 災 害

昭和42年8月28日、羽越地方一帯を襲った集中豪雨による大洪水。



最も甚大な被害を受けた坂町駅付近

【気 候】

日本海型気候に属し、年平均気温は12℃前後、年間降水量は平野部で2,200mm前後、山間部では2,400～3,000mmに達し、7月～9月にかけて集中豪雨に見舞われることが多く、中でも昭和41年7月及び昭和42年8月の羽越災害は、当地方に大きな被害をもたらしました。

なお、初霜は11月初旬で、晩霜は4月中旬頃、初雪は11月中旬で、晩雪は4月上旬頃です。また、積雪量は50～200cmですが、奥地山岳地帯の多いところでは4mにも達するところもあります。

【地質及び土壌】

地質は、粘板岩、砂岩を主とする古生層、それを貫いた花崗岩類からなっています。

土壌は、褐色森林土が大部分を占め、次いでポドゾル・ポドゾル化土壌、受蝕土の順となっており、一部に未熟土が見られます。一般に、褐色森林土は林木の生育に適していますが、酸性度が強く急峻な尾根などに分布するポドゾル土壌、雪崩発生地などの急傾斜地に多い受蝕土、海岸砂丘に分布する砂成未熟土などは、一度伐採すると森林復元に大変時間がかかることから、施業の実施にあたっては配慮が必要です。

【林況】

当支署管内の森林植生は、水平的には温帯に属し、ブナ、チシマザサ群落が広く分布しています。垂直的には、標高10m～1,800mまでの丘陵帯から高山帯にかけ広範囲であり、変化に富んでいます。

◎ 天然林

天然林は53,589haで、全面積の約81%を占めています。

平野丘陵地帯は、アカマツ、コナラ、ミズナラを主体として、クリ、カエデ類が混生する幼、壮齢の二次林ですが、人工林同様の松くい虫被害に加えて、カシノナガキクイムシによるコナラの被害も散見されています。

山岳地帯は、ブナを主体にミズナラ、クリ、トチノキ、ケヤキ等の混生した林分で、尾根筋にはアカマツ、ヒメコマツ、ネズコ等が点生しています。

高根地区の奥地及び三面地区猿田川流域の一部緩傾斜地には、ブナ、トチノキ等の大径優良林分が見られますが、他は多雪地帯に加え急傾斜地が多く、疎林状態で雪崩が発生し易い植生群落となっています。標高1,200mより高くなるに従って、ブナ林は次第に低木化し、亜高山帯の代表植生であるミヤマナラを主体とする低木林に移行しています。

稜線部には、亜高山帯の高山低木林、高山草原等が発達し基岩の露出も見られます。



◎ 人工林

人工林面積は5,333haで、全面積の約8%に過ぎません。

樹種別では、スギ65%、アカマツ12%、その他23%となっています。令級別では、IV令級以下の幼齢林が3%、VからVIII令級が10%、IX令级以上が87%となっており、主・間伐適齢期の林分が多くなっています。

スギは、奥地山岳地帯を除く広範囲に植栽されており、全般に良好な生育状況ですが、一部には雪による根曲がり、幹割れ等の被害が見られます。

アカマツは、村上、関谷部内の丘陵地帯に多く、生育状況は中庸ですが、松食い虫被害の拡大防止のため海岸林を中心に空中散布や地上散布等を行っています。



様々な取組

美しい森林づくり “市民参加の森林づくり！”

瀬波夕日の森

平成8年度から「白砂青松」の美しい松林再生活動が始まり、平成12年3月には、市民による自主的な森林整備活動の場として約76haを設定し、村上市長と協定を締結しました。

当初は瀬波温泉旅館経営者でつくる「潮風会」が発起人となり、松林の再生を目的とした活動を開始、協定締結後も瀬波地区区長会やボランティアによる下刈、清掃などの活動のほか瀬波小学校生徒による植樹などが行われました。

現在では、瀬波地区区長会、県立村上中等教育学校生徒を中心に地域住民による一般ボランティアも参加の下、毎年の恒例行事として、松林再生に向けた森林づくりを行っています。

令和4年には、県立村上中等教育学校が、これまでの松林の保全活動が評価され、林野庁の「国民の森林づくり推進功労者」に選出されました。

表彰は全国で5校、関東森林管理局管内では唯一の表彰となりました。



「さけの森林」

「さけの森林」とは

三面川のサケを守るためには豊かな川、豊かな海、それを生み出す豊かな森林が必要であることから、平成11年11月11日（鮭の日）に「さけの森林づくり推進協議会」が設立され、翌年の平成12年10月から、森林整備活動を開始、その活動の輪は年々広がり、今では参加者が100名を超すまでになりましたが令和元年の台風19号等により会場までの連絡道路が被災し3年連続で活動が中止となっております。

当初設定された区域は奥地であり、長年の活動により現地の整備も進み、さけの森林づくり推進協議会も高齢化が進んだことから移動もしやすく、子供たちでも利用のしやすい場所で本活動を行うことが出来ないか等の要望があったことから、新たな場所の選定に村上支署も取り組みました。

新たな「さけの森林」

新たな「さけの森林」として、熊登山409-1国有林1035林班い小班外30（33.49ha）を令和4年8月1日に「さけの森林づくり推進協議会」と協定を締結いたしました。

協定締結により令和4年10月8日にさけの森林づくり推進協議会により森林整備イベント「さけの森林づくり活動」が再開されました。

令和7年度のイベントでは、地元の朝日みどりの少年団のほか、村上市の交流都市である東京都荒川区からの参加者により、ナラ、ヤマザクラ、クリ、トチの植栽を行いました。

また、間伐や枝打ち体験等が行われました。

令和4年8月1日協定締結



「さけの森林づくり活動」
令和7年10月26日イベント開催



森林整備推進協定の締結

村上市笹平地区の森林・林業の再生に向け、森林の多目的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、協定者（下越流域森林・林業活性化センター、(有)阿部林業工務店、下越森林管理署村上支署）が連携・協力して団地化を推進し、合理的な路網の整備及び効率的な森林施業の実施に取り組むことを目的に、平成25年2月に新潟県内初めての森林共同施業団地を設定しました。

平成27年3月には協定を延長するとともに、新たに関川村内須川地区において協定者（下越流域森林・林業活性化センター、新潟県農林公社、関川村森林組合、下越森林管理署村上支署）による新たな協定を締結し、森林共同施業団地を設定しました。両地域の対象森林において、合理的な森林作業道の開設や効率的な間伐などの森林整備を民有林と国有林が一体となり取り組んでいくこととしています。

令和7年3月には、下越森林計画区の第7次国有林野施業実施計画に合わせ、令和11年度末までの5年間を新たな期間として両協定を締結しております。



共同施業団地の設定にあたっての現地検討会



協定3者による調印式（笹平地区）

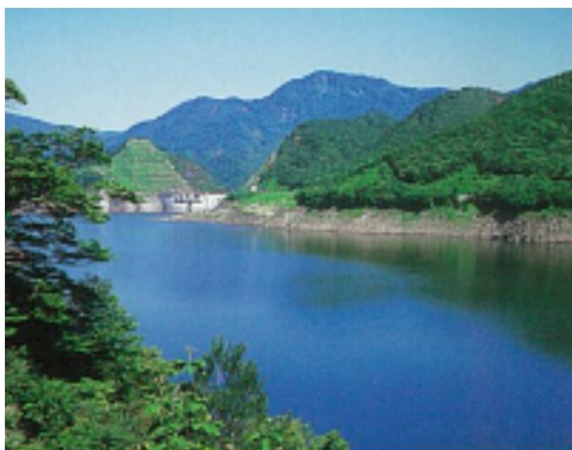
運営会議の開催

両協定に基づく森林整備に関する事業の実施状況や路網の設置及び維持管理等についての情報共有や意見交換を行うため、村上市笹平地区と関川村内須川地区の関係者が出席し、毎年、運営会議を開催しております。



意見交換等の様子

国土保全等



管内の国有林は、概して山形県境に接し、三面川上流地域及び荒川東南部に団地を形成しており、管内の北部から南部にかけて団地が広く分布しています。

これら、国有林に近接又は団地に包囲された集落の数も多く、従って、国有林に対する依存度も高いことから、水土保持機能を高めるため、適切な間伐、育成複層林施業等を実施するとともに、治山事業を積極的に推進しています。



生物多様性の保全

保護林制度等により、原生的な自然環境の保護・保全を図るほか、野生生物の移動経路を確保するため、保護林を中心に「緑の回廊」を設定し希少種の保護や遺伝的な多様性を確保しています。



林産物の安定供給



公益的機能の維持増進に配慮した森林整備を行いつつ、地域における需要動向等を踏まえ、林産物を持続的に生産しています。利用可能な径級に達した人工林が増加してきていることから、搬出路の整備やコスト削減を図り、木材の安定供給に取り組んでいます。



職場体験の受け入れ



周囲測量

例年、村上市教育委員会からの依頼で市内の中学生を対象に「職場体験」を行っています。

令和7年度は、村上市立第一中学校の2年生3名を受け入れ、入札の模擬体験や収穫調査、ドローンを使った治山現場の確認など3日間に渡って様々な体験をしてもらいました。

今年度についても職場体験の受け入れを予定しているところです。



立木調査



模擬入札



令和4年8月新潟北部豪雨災害

- ▼災害名：令和4年8月豪雨災害
- ▼発生年月日：令和4年8月4日
- ▼観測雨量：559.5mm/最大24h 148mm/最大1h
- ▼被害状況：

8月3日から4日にかけて東北の日本海側や北陸地方では、前線の停滞と併せ、台風6号を起因とする熱帯低気圧の影響により、線状降水帯が発生し、新潟県北部では記録的な豪雨となった。新潟県関川村に設置されている下関気象観測所においては8月3日6時～4日6時までの24時間雨量が559.5mm、最大時間雨量148mm（8月4日1時～2時）となり、いずれも観測史上最多を記録した。

この豪雨により、荒川下流域の国有林、民有林等において広い範囲で山腹崩壊が発生し、国道113号やJR米坂線に崩落土砂が流出し、国道は一時全面通行止めとなった。（現在は解除されている）JRは現在も不通であり、不通区間では代行バスが運行されている。

また、市道や耕作中の農地に崩落土砂の流出や、一部の住宅に大量の土砂が流出したことにより、住民が避難している状況が一年以上続いた。（令和5年10月1日避難指示を解除）

このような状況を踏まえ初期段階では、地元説明会への参加、リエゾン派遣、緊急物資の提供、応急対策等を行った。

現在は、国交省、新潟県、村上市、関川村等の関係機関との情報交換や調整等を行いながら官民一体で早期復旧・復興に向け進めている。



村上市小岩内（頭首工付近）【復旧前】



村上市小岩内（頭首工付近）【復旧後】



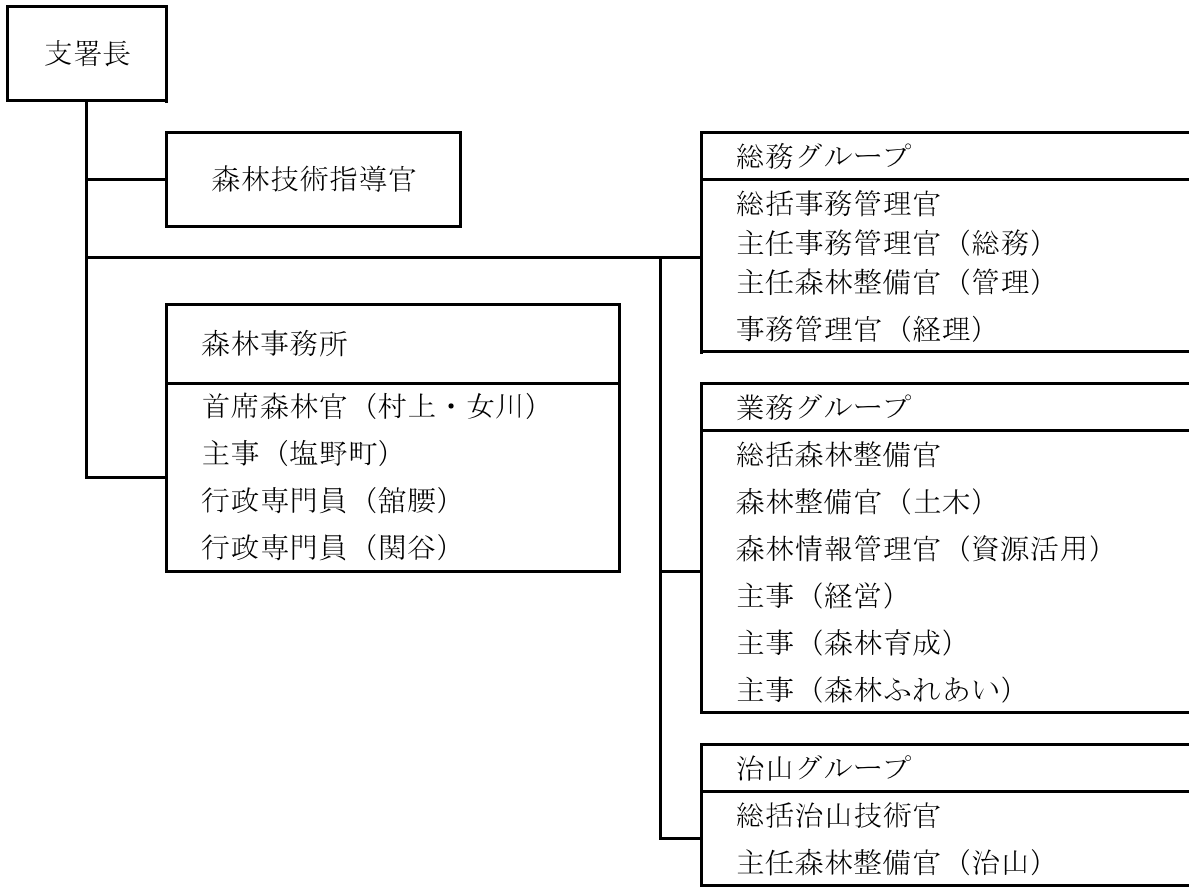
村上市貝附【復旧前】



村上市貝附【復旧後】



組織・人員配置



※令和3年2月新庁舎完成

(木造2階建、建築面積333.73平方メートル、延床面積446.79平方メートル)

下越森林管理署村上支署

〒958-0033 新潟県村上市緑町三丁目1番13号 TEL:0254-53-2151

HPアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/murakami/index.html>